

の為に8年ぶりの開催です。多くは前回からの参加でしたが数名が

50年ぶりに顔を合せた者もあり、全く分からずネームプレートを見

て確認しながらの挨拶です。お互い年を取ったものです。頭の毛も薄くなり、顔は皺くちゃ。

でも声を聴いてあの頃の顔を思い出し、昔話に花が咲きました。

冒頭、16名の物故者の黙祷の後、羽織袴姿の謡曲に始まり、学科ごとに登壇しての各自の挨拶。学生時代の悪さを謝る吾人、小白川で農学部移動への単位を取り切れず半年遅れで鶴岡へ来た話。知らなかつた話が続々登場。延長2次会では思いがけないサックスやピアノ、大正琴等の演奏、詩吟やデカンショ節などの余興も飛び出し時間は過ぎていきました。

終わりに逍遙歌を合唱して閉会を迎える、次回の再会を約束して終了しました。



山形大学農学部73卒同期会 令和5年10月22日 於 東京第一ホテル鶴岡

創業以来43年の実績 専門技術者集団 土と水と緑の調和を築く

北海道三祐株式会社

◎私たちには新しい技術で、防災工事に貢献しています。

次々に発生する地震・津波、大噴火そして異常気象による洪水などにより、尊い命が奪われています。災害から人命やインフラを守るため、国を挙げての国土強靭化がスタートします。我が社の技術力が期待されます。

執行役員会長 早坂 武男(山形大学農学部 昭和41年卒)創業者
代表取締役社長 笹浪 圭吾(室蘭工業大学工学部 昭和59年卒)

本 社 : 北海道札幌市北区屯田6条8丁目9-12 TEL(011)773-5121
東北営業所 : 宮城県仙台市青葉区柏木1丁目1-53-201 TEL(022)779-7236
メ ー ル : h.sanyu@dosanyu.co.jp ホームページ : <http://www.dosanyu.co.jp/>

支部長
機部 勝彦
(昭和52年農業工学卒)

北海道支部

北海道支部は、「月山会」の名称で活動を行つてきました。農業工学科卒業生等を中心に5年前に発足して「キャタピラ北海道の会」の活動を見て、他の学科の卒業生も参加できる会の要望があり1990年に不足したと聞いております。

2019年には30回目の節目を迎えたが、それ以降、3年間はコロナの影響で開催出来ておりません。活動の内容としては、毎年の総会と併せて懇親会の開催です。会の規約はなく、主に札幌市周辺に在住する者が中心となって会を運営しています。

鶴窓会北海道支部としての活動は、幹事と代議員の選出、活動報告、本部との連絡等で、幹事と代議員が行つてきました。新幹線の札幌延伸に併せた札幌駅周辺再開発の影響か会場費の高騰にはとまどっています。そんな中、今年から、鶴窓会本部の支部強化支援として、総会開催案内を本部から出していただきることになり、負担の大きかつた名簿の更新や開催案内の発送などが軽減され、今までの支部支援費と併せて大変助かっております。

幸い、11月18日に札幌市内のホテルがとれたので、急遽開催することとなりました。開催案内は、鶴窓会名簿に掲載された方に送付され、今までの支部支援費と併せて大変助かっております。

開催日 3月19日(日)
会場 「月山荘」
出席者 19名

庄内支部
支部長
芳賀 修一
(昭和46年農学科卒)

庄内支部は慣例により、2年に1回総会を開催することになつており、総会の無い年度は庄内農業を語る会を開催してから、丸3年間を開催してから、丸3年間会員の集まりが出来ませんでしたが、今回新型コロナの感染の落ち着きを見て、思い切つて総会を開催する事にしました。

幸い、11月18日に札幌市内のホテルがとれたので、急遽開催することとなりました。開催案内は、鶴窓会名簿に掲載された方に送付され、今までの支部支援費と併せて大変助かっております。

開催日 3月19日(日)
会場 「月山荘」
出席者 19名



庄内支部総会 令和5年3月19日(日)於:月山荘

認されました。

総会後、事例発表として、昨年発行鶴窓会だよりに掲載された小野寺喜作氏と学生グループ「のらしいお」から2名来て頂き、報告をして頂きました。

小野寺氏は「有機農業に取り組んで」と題し、宮城县から鶴岡市にやつて来てから今日までの農業実践を、有機水田が雑草だらけになった失敗談も含め語ってくれました。

「のらしいお」は昨年結成された農業サークルで、代表佐藤萌々香さんと、会員の杉山智彰さんが発表してくれました。

大学に来て農家との交流の無さや、学生同士の話し合いに農業の話題が無いことに違和感を持ち、22年4月にサークルを立ち上げ、活動コンセプトは学生と農家の懸け橋になる、協働の地域づくりを進めるとの事でした。

大学に来て農家との交

流の無さや、学生同士の話

し合いに農業の話題が無い

ことに違和感を持ち、22年

4月にサークルを立ち上

げ、活動コンセプトは学生

と農家の懸け橋になる、協

働の地域づくりを進めると

の事でした。

現場交流をしたいとの学

生の熱意に同窓会としても

応えたい思いがしました。

その後、村山学部長の参

加も頂き、盛大に交流会を

してくれました。

「のらしいお」は昨年結

成された農業サークルで、

代表佐藤萌々香さんと、会

員の杉山智彰さんが発表

してくれました。